



第11回 AIY Voice Kit でワクワク

ちょっと古いけど、「Google AIY Voice Kit」を紹介します。

■ 購入と組み立て

2017年5月、Raspberry Piに関する一般向け雑誌MagPiの付録(FreeKit)としてGoogle AIY Voice Kit(図-1)が発売されました。AIYとはDIY(Do It Yourself)をもじって、あなた自身でAIプロジェクトを作ってみよう(AI Yourself)という意味のようです。AIY Voice Kitはスマートスピーカを自分で作るKitですが、外部機器を接続することで、音声制御のさまざまな装置を作成することもできます。

2018年1月末に、SWITCH-SCIENCEのサイトでGoogle AIY Voice Kitをポチ(発注)りました。きれいな段ボール箱に、部品がきれいに収まっていて、箱を開けただけでワクワクしてきました。その上、AIYプロジェクトの説明や組み立て方が記載された、カラー刷りのきれいな冊子が入っていて、制作意欲が湧いてきました。MagPiは英語ですが、日本語による紹介記事がWebにたくさん見つかります。子供のころに戻った感じでワクワクしながら組み立てました。

■ ソフトウェアのインストールと音声認識

Softwareをインストールし、ネットワークへ接続、スピーカをチェックし、クラウド接続し、音声認識装置を作ります。記述と実際の状況に違いがあったり、説明は英語だったりして分かりにくい問題もありました。支払いのための手続きも必要になります。それでも音声認識に成功し、質問に対する答えを聞いたときは感激し、苦労は吹っ飛びました。

■ さまざまな素子の制御と応用

終わりの方に、「あなたのプロジェクトの音声UIの作成」、「LEDの制御」、「サーボの接続」、「モータの制御」が載っています。本当に面白いのはこれらの部分ではないかと思います。「このようにしてロボットやほかの動くプロジェクトを作成すること

ができます」と書いてあります。そういわれたら受けて立たなくては、と思って、音声指示で動作するFork Lift(図-2)を作成しました。

Raspberry Piと、アクチュエータを接続したArduinoをUSBケーブルで接続し、音声認識結果をコマンドとしてArduinoに送り、実行させるようにしました。嬉しいので、ほかの人にも見てもらおうと、Maker Faire Tokyo 2018やMaker Faire Taipei 2018等で発表しました。自分が作ったものを多くの人に見ていただけるのは最大の喜びです。

■ Google AIY Voice Kit V2

Google AIY Voice Kitはすでに販売されていないのですが、後継のGoogle AIY Voice Kit V2が販売されています。MagPi Essentialsがついてない、Raspberry Pi Zeroが付属、部品数が減っているという違いがありますが、同じように楽しめると思います。  
(2021年1月31日受付)

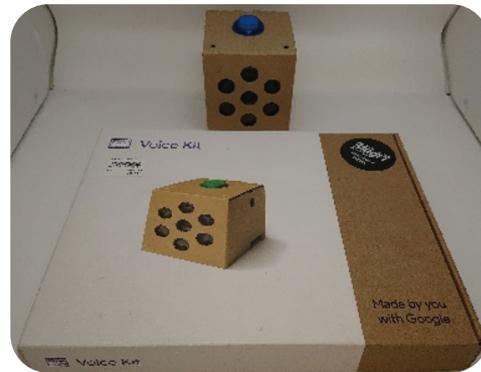


図-1 Google AIY Voice Kit

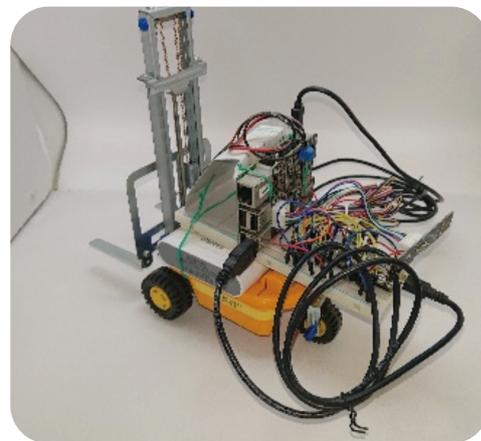


図-2 音声制御 Fork Lift

※紹介する商品と著者に利益相反がないことを、編集部で確認しております。